Q：寒冷地仕様の装備を教えて。

プリウスα

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。
選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。
なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

＜○：設定あり －：設定なし＞

装 備	説 明	寒冷地仕様	標準仕様	G		S		S	S
				ツーリングセレクション		ツーリングセレクション		Lセレクション	ツーリングセレクション・GR SPORT
				5人乗り（2列） ／ 7人乗り（3列）				5人乗り（2列）	5人乗り（2列）／ 7人乗り（3列）
耐チップテープ	雪道走行時の飛び石や氷の塊などによるキズを受けやすい車両下部の保護を目的としたテープです。（下図1参照）	あり	なし	○	○	○	○	○	○
冷却水（LLC）	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。通常の濃度である、30%だと－15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると 凍結温度が下がり、約－35度ぐらいにならない限り、凍結しなくなります。	LLC濃度50%	LLC濃度30%	○	○	○	○	○	○
サブマフラー	フロントエキゾーストパイプのサブマフラーに、排気ガスの熱エネルギーを利用してエンジン冷却水を加熱する排気熱再循環システム（排気熱回収器）を採用し、エンジンの暖機時間短縮による燃費向上と暖房性能の向上をはかります。	排気熱回収器付き	排気熱回収器無し	○	○	○	○	○	○
フロントドアガラス	撥水機能・UVカット機能付きガラスになります。	撥水機能・UVカット機能付き	UVカット機能付き	－ ＊1	－ ＊1	－ ＊2	－ ＊2	○ ＊3	－ ＊2
ウインドシールドデアイサー	雪だまりや凍結により、ワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。（下図2参照）	あり	なし	○	○	○	○	○	○
リヤフォグランプ（右側のみ）	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。リヤフォグランプは右側バックアップランプと入れ替わり、インナーレンズが赤色になります。（下図3参照）	あり	なし	○ ＊4	○ ＊4	○ ＊4	○ ＊4	○ ＊4	○ ＊4
ヒーター付ドアミラー	ドアミラーを暖めて霜・露・雨滴を取り除くものです。	ヒーター付き	ヒーターなし	○	○	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う装置（電気式補助ヒーター）です。エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房がききます。	補助ヒーターあり	補助ヒーターなし	○	○	○	○	○	○
リヤクォーターライナー	標準仕様のリヤクォーターライナーには、布が付いていますが、寒冷地仕様のリヤクォーターライナーは、樹脂となります。	樹脂	布付き	○	○	－ ＊5	－ ＊5	－ ＊5	－ ＊5

■ハイブリッド車のバッテリーは、寒冷地仕様を手配しても変わりません。
通常、寒冷地ではエンジン始動時の負荷が大きいため、バッテリーを大きくしますが、ハイブリッド車は、より大きな駆動用バッテリーでエンジンを始動するため、補機バッテリー変更の必要がありません。
＊1 すでに、フロントドアガラス（スーパーUV・IR＜赤外線＞カット・撥水機能付き）が標準装備で設定されております。
＊2 フロントドアガラス（撥水機能・UVカット機能付き）が標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。
＊3 フロントドアガラス（撥水機能・UVカット機能付き）と寒冷地仕様はセットでメーカーオプションです。
＊4 リヤフォグランプ（右側のみ）と寒冷地仕様はセットでメーカーオプションです。
＊5 リヤクォーターライナーの設定自体ありません。

＜上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備＞

装備	説明
ウィンタープレード ＊6	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

＊6 ウィンタープレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。

図1



■写真はS “Lセレクション”

図2



■写真はS “Lセレクション”

図3



■写真はGR SPORT以外。
GR SPORTは、
テール＆ストップランプ、
リヤフォグランプは専用加飾になります。